

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 21 週 (5 月 23 日~5 月 29 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

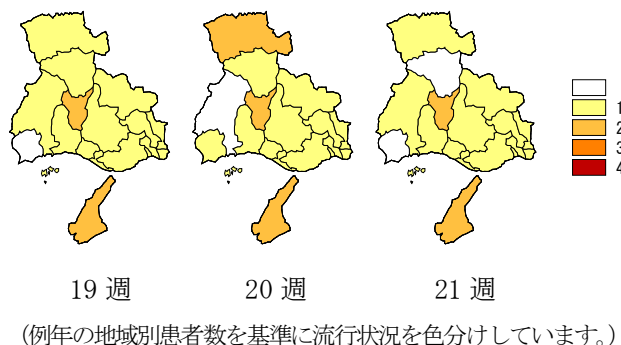
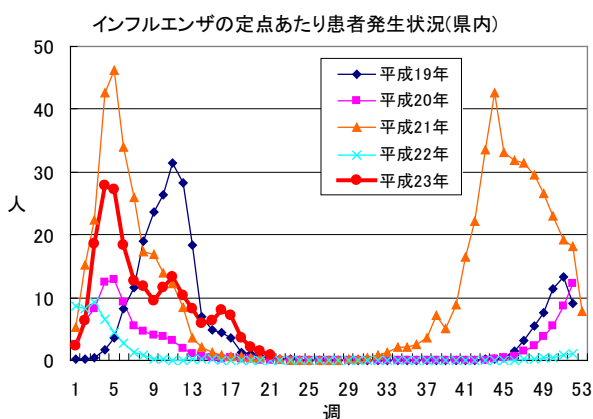
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.82 人** (先週 1.56 人) と減少し、流行の目安となる定点あたり患者数 1.00 を下回りました。県内の保健所管内別では、中播磨保健所管内 (定点あたり 5.00 人)、洲本保健所管内 (同 4.38 人) が比較的患者数が多くなっていますが、他の保健所管内の定点あたり患者数は 1.00 人前後かそれ以下となっており、全県的に流行はほぼ終息したものとみられます。

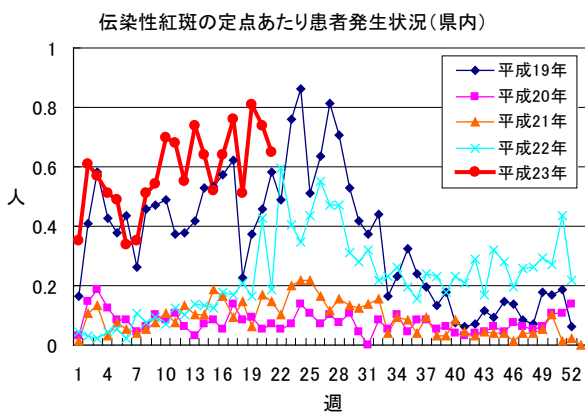
全国的には、北海道、沖縄県の 2 道県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の青森県と佐賀県に注意報レベルの保健所管内があります。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに 282 検体のインフルエンザウイルスを検出していますが、そのうち 5 月以降に検出されたのは 28 検体で、内訳は AH1 2009 (いわゆる新型インフルエンザ) 1 件 (4%)、A 香港型 (AH3 亜型) 11 件 (39%)、B 型 16 件 (57%) となっています。



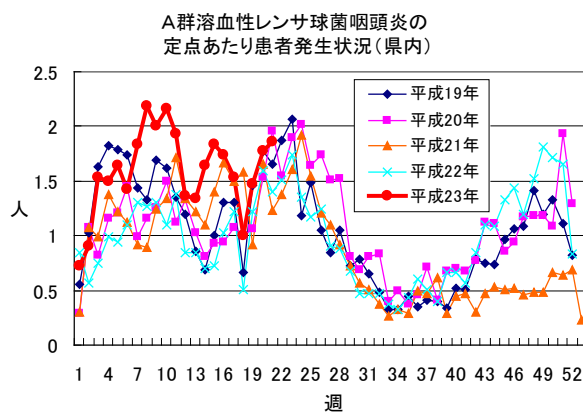
伝染性紅斑

定点あたり患者数は今週 **0.65 人** (先週は 0.74 人) と減少しました。例年に比べて患者数が多い傾向がみられます。



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点あたり患者数は今週 **1.86 人** (先週は 1.78 人) と増加しました。幼児、学童・生徒を中心に学校、家庭などの集団での発生が多く、注意が必要です。



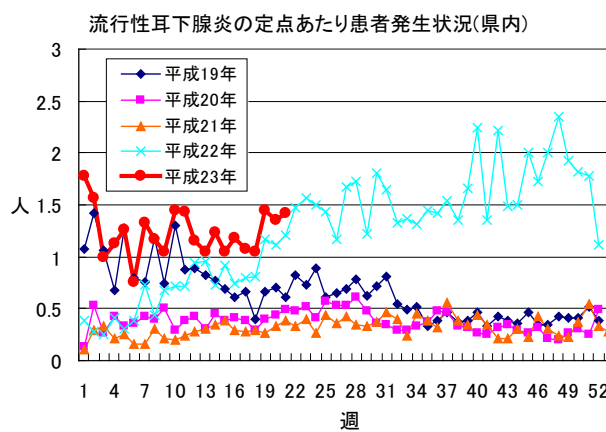
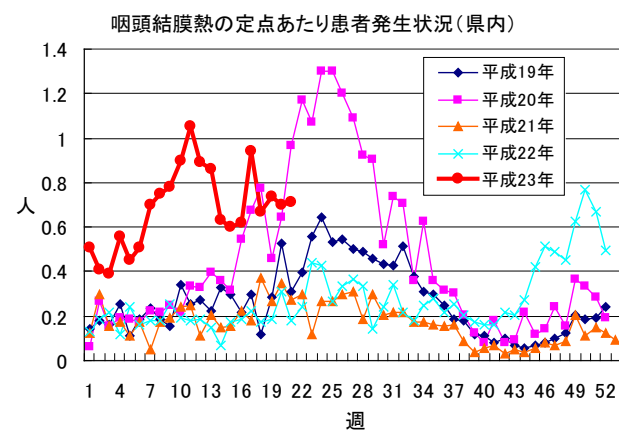
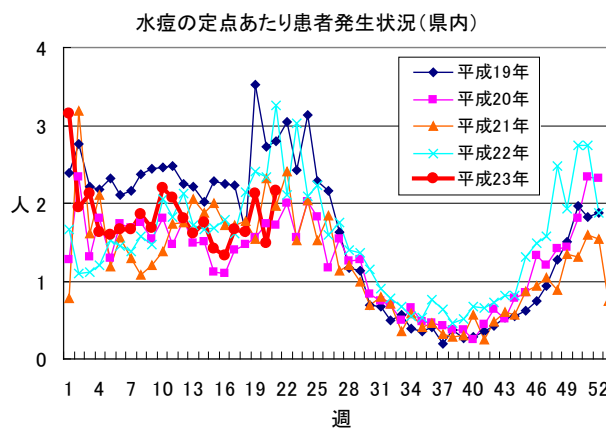
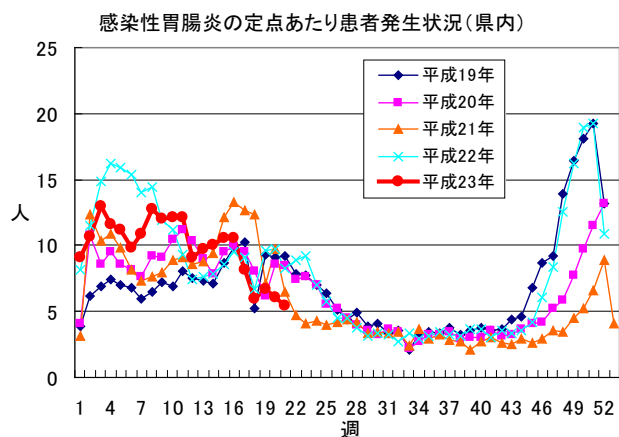
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	5.41	6.06	-0.65	6 位	咽頭結膜熱	0.71	0.70	+0.01
2 位	水痘	2.16	1.49	+0.67	7 位	伝染性紅斑	0.65	0.74	-0.09
3 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.86	1.78	+0.08	8 位	突発性発しん	0.54	0.48	+0.06
4 位	流行性耳下腺炎	1.42	1.36	+0.06	9 位	手足口病	0.53	0.40	+0.13
5 位	インフルエンザ	0.82	1.56	-0.74	10 位	流行性角結膜炎	0.40	0.43	-0.03

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 31 名 （神戸市 9 名、尼崎市 2 名、姫路市 5 名、西宮市 1 名、伊丹保健所管内 3 名、宝塚保健所管内 1 名、明石保健所管内 4 名、加東保健所管内 3 名、龍野保健所管内 1 名、赤穂保健所管内 1 名、洲本保健所管内 1 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2 名 （有症者 2 名、うち HUS 0 名） （神戸市；O 血清群不明 VT2+ 女性 20 歳代、O157 VT2+ 男性 5 歳）（累積報告数 19 名；有症者 15 名、うち HUS 1 名）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	風しん 1 名 （尼崎市；検査診断例 女性 30 歳代 感染地域；国内、感染経路；不明、ワクチン接種歴；無し）、 麻疹 1 名 （神戸市；修飾麻疹（検査診断例） 女性 4 歳 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、ワクチン接種歴；1 歳時に 1 回有り）
追加報告	結核 10 名 （姫路市 1 名、西宮市 3 名、龍野保健所管内 2 名、赤穂保健所管内 2 名、洲本保健所管内 2 名）、 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 （有症者 2 名、うち血小板減少 1 名） （西宮市；O26 VT1+ 男性 10 歳代、洲本保健所管内；O157 VT2+ 女性 70 歳代）、 レジオネラ症 1 名 （姫路市；肺炎型 男性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 アメーバ赤痢 1 名 （芦屋保健所管内；腸管外アメーバ症 男性 50 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）、 急性脳炎 2 名 加古川保健所管内；（男性 0 歳 病原体；HHV6 の疑い、感染地域；兵庫県、感染経路；接触感染）、（男性 7 歳代 病原体；ロタウイルス疑い、感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （AIDS）（感染地域；国内）（感染経路；性行為感染（異性及び同性間性的接触））、 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 名 （加東保健所管内；男性 70 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）

目で見える動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。